

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

① 開催日：9月2日(木) 会場：嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区：町分区、塩田区、原町区

48人

	意見・質問	回答
1-1	合併協議会の最重要課題は市の名称、市庁舎の位置と考えているが、今回合併協議会の合意事項を無視した形で進められているのではないか。	難産に難産を重ねて嬉野市が発足した経緯は承知しているし、明文化したもの、していないものを含めて、嬉野市として一つのまちの名でなっていく時には皆さんも飲み込んだ部分もあると思うが、無視したわけではなく最大限尊重すべきだろうという立場にたっている。昨今の災害を考えた時に、本当に市民の命を守れるのか、過去の合併の経緯は尊重するものの、市民の命を守る防災拠点をしっかりやっていく、コストカットをやるべきところは踏み込んでやって、子どもたちの豊かな教育環境を残していくためにやるべきことだと判断した。
1-2	塩田庁舎の資産価値はどのくらいなのか。	この土地はアクセスが良好で、活用の方法次第ではいかようにも資産価値をもっと増やすことのできる地域であると考えている。平時においては交通の要所としての塩田庁舎の移転を活かした活用を今後図っていきたい。塩田庁舎は1993年の建築で、築27年。耐用年数50年であるが、残存価格は数字を持ち合わせていない。
1-3	新庁舎の周辺整備を含めた概算費用はどのくらいを見込んでいるのか。	基本構想案の中で現時点における新築費は450千円/㎡と示しているが、建築場所や庁舎にどういった機能を持たせていくか不確定な部分が多数あるため、次のステップである基本計画の中で明らかにしていく予定にしている。
1-4	令和の大合併もあるのではないか。人口減少・少子高齢化時代に、また行政の二重構造を指摘されている中、首長としてはその点のところを解決すべき課題ではないか。40年後に150億円の財源が不足するということであるが、40年後まで嬉野市が存続しているのかと思っている。	嬉野市は歴史・文化が豊かで、地域資源に恵まれた地域であり、他と合併して持ち味の良さを損なってはならないと思っている。学校を守っていく、きめ細やかに小学校区単位で地域をつくっていく、子どもを育てていく、そしていざという時には防災で助け合っていく、地域を守っていくためにもこれ以上の合併は繰り返してはいけなと思っています。存続するためにも踏み込んだコストカット、財政再建をしていかなければならないと考えている。

1-5	費用は概算でもわからないのか。面積もわからないのか。	面積は8,000㎡としているが、決定しているわけではない。周辺エリアを含めたところで検討する。
2-1	財源はどこから持ってくるのか。財政的に非常に厳しい時代である。	合併特例債などの有利な起債と公共建設基金の活用を考えている。有利な起債は国から交付税として戻してもらうため、実質的な負担を低減させながらできるというメリットがある。トータルコストで見たときにどうなるかと検討した結果、一つにコンパクトにつくっていくことが、将来負担という観点では有利になるという判断のもとで今回提案している。
2-2	合併協議会の約束は反故にされるのか。市の中心と言われているが、嬉野町の中心であって、塩田からは非常に遠くなる。	経済圏という観点でいけばこの地域は武雄市・鹿島市と既に3つの経済圏がせめぎ合っている状況である。今まで中心が存在しなかったことが逆にまちの弱みではないかと考えている。庁舎を中心にするという考え方ではなくて、それぞれの地域が個性を持って、塩田地域なら住環境と農業で栄えるまち、嬉野は民間の投資が呼び込める市街地ゾーン・観光ゾーンとして、それぞれのまちの個性を活かした形で極をつくっていくという考え方に立ってやっていきたい。市役所がまちの中心になるという時代ではない。この塩田庁舎の活用の中で、このまちの極となる得るような投資の呼び込みを図っていきたい。
2-3	財源は合併特例債ということであるが、塩田と合併したからできたわけで、塩田も犠牲を払っている。光は嬉野ばかりで、塩田は影になっている。光と影をつくらないでいただきたい。	持続可能がキーワードになる時代は、豊かな自然環境と共に生きる地域が生き残っていくと確信している。農業や子育て支援の充実に重点的な措置を図っていきたい。
3	嬉野と塩田のバランスを考えて、前市長、前議長は嬉野・塩田の融和を図られてきた。庁舎移転の話が唐突に出てきたことは塩田町民の反発を買うのは目に見えている。庁舎移転は歴代の市長・議長のこれまで努力されてきたことに水を差す、泥を塗る行いである。嬉野市は合併後5000人ほど人口が減ってきている中で、今後嬉野市が発展するためには両町民がいっしょになって頑張っていかなければならないのに、逆行するようなことをやられることが信じられない。1庁舎体制は仕方ないと思うが、もっと融和を図られてからこの話しが出ていいのではないかと。時期が早過ぎる。	決断を下すにあたって、いろんなことを考えた。この地域をダメにするためにやっているわけではない。

4	<p>水害がくるから庁舎を移転するのか。塩田町に住んでいる、ここに残された我々はどうなるのか。あなたが逃げている。子どもたちにこういうまちに帰って来いと言えるのか。</p>	<p>逃げるということではない。人命救助を優先する時の拠点が被災するわけにはいかない。災害発生時には前線拠点を設け、市民の命を守っていききたい。水害が起こることは現実であり、豊かな地域の裏返しである。自然と共に生きる選択を皆さんにさせていただき、私たちがする以上は、命を守る拠点をしっかりやっていきたい。</p>
5	<p>浸水はせいぜい5m程度で、半日もすれば水は引いていく。ここに居ることによって川の状況、浸水の状況を見ることができる。防災拠点はこれまでここできてきたはず。</p>	<p>防災のサテライトみたいなところをつくる。ハザードマップを見れば分かるように堤防が決壊すれば、10mの浸水がある。今回はたまたま干潮時であった。市民の命を守るためには安全な場所に行くべきだと考えている。</p>
6-1	<p>6月議会で、塩田地区の市民の同意を得て基本構想に着手したのかという質問に対し、市長は説明を尽くすというだけの答弁だった。基本構想は塩田地区の市民の同意を得たと判断したから着手されたのか。</p>	<p>すべての人に同意を得ているわけではないから、今回このような厳しい言葉をもらっている。説明を尽くすという考えの中には、命を守る、ふるさとを守るという最善の選択をしていく義務があると思っている。庁舎移転に伴って皆さんが不便を被ることのないように誠心誠意対応していきたい。</p>
6-2	<p>庁舎のあり方検討委員会の条例が制定されて、問題が発展しないかとコミュニティの総会の時に質問したが、その時に市長は市を二分することはないと明言された。その時の言葉は嘘だったのか。</p>	<p>市を二分することのないように、これからしっかり約束を果たしていきたい。一つでも皆さんが納得してもらおうように説明を尽くしていきたい。</p>
6-3	<p>本来、行政問題を課題としないコミュニティで説明会を開催されている。アリバイだけを重ねられ、姑息な手段で物事を進めていると感じている。</p>	<p>いろんなチャンネルを使って説明するということでコミュニティでの説明会の場を設けた。区長会でも説明したし、これからも求められれば前に出て説明していく。</p>

7	<p>庁舎のあり方検討委員会の第4回において、建設費の資金計画はどうなっているのかという質問に対し、合併特例債は17億円程度、4年後には10億円まで減る可能性がある。その10億円をまずあてにしているのが一つと現時点での建設のための自己資金はありませんと書いてある。資金調達の一つとしてふるさと納税を建設費として積み立ていく方向と書いてあるが、ふるさと納税をここに持っていくことに合点がいかない。市で使うためには使途が決められている。ふるさと納税を完全に活用するという事を考えているのか。嬉野市民にとっていろいろ今まで寄附されたお金を使ってきたと思うが、それを無くして庁舎建設費のためにふるさと納税を一挙に持っていくことがわからない。新庁舎の敷地面積が8,000㎡で整備費が45万円/㎡ということであれば、事業費は36億円となる。ただし、これは建設費のみで、造成費、解体費は含まれていない。このことも明確にしながら暫定でもいいから全体の事業費をきっちり示すべき。建設費がありませんとあるのに、こんな大きな事業を進めていいのか。庁舎のあり方検討委員会は2019年11月から9か月で5回の会議が開かれている。その中の資料を見ればつくる方向の計画になっている。財政面については、ほとんど書かれていない。財政がしっかりあつての建設になるのではないかと。計画的には慎重に財政面の見通しができてからやったほうがいいと思う。これから人口減少がさらに加速していく中、財政面でさらに非常に厳しくなる。あり方検討委員会で5回で1年もやっていない中で、ずっと通りながら前向きに検討されて、今回の説明会になっているのは、計画的にも甘く、短いと思う。今日の資料では令和8年に竣工となっているが、あり方検討委員会の計画では令和6年には竣工するとなっているので、入り口から甘かったと思っている。</p>	<p>庁舎のあり方検討委員会は、5回の会議を重ね、昨年8月に市長へ報告書を提出した。そのあとさらに3回の会議を重ね、基本構想(案)の検討を行っている。庁舎整備の財源については、合併特例債と公共建設基金を考えている。合併特例債は15億5,600万円が使えるが、市が行う他の事業もあるため、全額を使うわけではない。他の事業と配分していくことになる。公共建設基金は6億6,800万円あるが、ふるさと納税の積立金を一部充てていくことにしており、ふるさと納税の全額を庁舎整備のために基金に積立していくわけではない(合併特例債及び公共建設基金は令和3年度末見込額)。36億円は本体工事費のみで、造成費、解体費は含んでいない。基本構想の次のステップである基本計画の中で算出することになっている。</p>
8	<p>合併の最後の話し合いの中で、当時の助役が塩田庁舎は永久的だという回答されたので、安心してた。あの時の約束は何だったのか。本庁がなくなれば、スーパーも来なくなるかもしれない。買物難民も考えて塩田はやっていかねばならない。嬉野に防災課があるのなら全体的に見る目が必要と思う。馬場下のポンプ場を浸水しないように高い位置に持って行って、上から放水するようなポンプ場を何年後につくることを併せて検討していただきたい。庁舎だけつくるのは早急である。3~4年でつくるのではなく、塩田・嬉野のまちづくりを深く考えて、両市民に安心を与えるような詳しい説明をしてほしい。</p>	<p>市役所を賑わいの拠点としてではなく、執務・防災対応の拠点としての市役所を考えていきたい。塩田庁舎を含めた活用の中で、既存の商業施設と連動して、賑わえるように塩田を一つの極として考えていくために、地の利に恵まれたこの土地の活用もテーマとして掲げている。今回の水害を契機に、支流域の氾濫を防ぐための治水のビジョンを示して、その財源を捻出するために庁舎を含めた公共施設の再編に踏み込んでいきたい。</p>
9-1	<p>庁舎整備にどのくらいの予算を考えているのか。</p>	<p>庁舎整備に30億円、40億円とそこまでかける考え方は持っていない。できるだけコンパクトにつくる。その分、治水や教育にかける。</p>

9-2	<p>嬉野は絶対に災害が起きないということ saying しているのか。温泉は地下が空洞になっているはずで、詳しく調査をして saying しているのか。</p>	<p>温泉の水位は現在、地下17mから20mのところ で水位が安定している。これ以上水位が下がる とい いう時にもモニタリングシステムがあるので温泉の 水位の経過については即座に把握できるような状 況にある。</p>
10-1	<p>庁舎の位置に関する条例は市議会議員の改選前 に出すのか。</p>	<p>基本構想案について、市民説明会での意見、パブ リックコメントでの意見、議会特別委員会の意見を 聴き、最終的な案を取りまとめて、10月の議会で 基本構想の議決をもらいたいと考えている。庁舎 の位置を定める条例については、今の議会で了 承を得るべきではないという判断をしている。来年 の1月に市長選・市議選があるので新しい体制で 判断をもらう予定である。</p>
10-2	<p>議員提案という手はあるので、きちんと議会と調 整を図って、今の体制の中で先のことは決めない という努力をしてください。</p>	

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

② 開催日:9月3日(金) 会場:吉田公民館

【参加者数】

対象地区:吉田区

13人

	意見・質問	回答
1-1	基本構想案概要版にある「地域の活性化」とはどのようなことなのか。 福祉の中の活性化なのか。	人が集うということでの活性化。子育てや高齢者の福祉的な要素を含んだ活性化でもある。
1-2	財政面とはどういうことか。 嬉野市は財政力指数が全国平均よりも低い。財政力指数を上げるような段取りができないのか。	公共施設は維持していくためのコストもかかる。1庁舎体制に移行することにより、40年間で22、2億円以上の削減効果を生み出していくことである。民間投資を呼ぶ込むなど少しずつ成果も出てきているが、本質的な財政力強化に向けて取り組んでいきたい。
1-3	どうやって域内の人口と総生産高を上げていくかを検討するのが大事。新庁舎を建設しても段々衰退していく嬉野市ではいけない。	庁舎を活用していく中で、住みやすいまち、住民サービスの向上を図っていくことが、結果的には域内の人口増、産業の活性化、総生産を高めていく流れをつくっていくことになる。
1-4	熊本地震など災害支援に行った職員に報告をさせているのか。レポートを上げさせているのか。被災地に行って勉強してきたことを糧にしないといけない。	被災地に在任中でも報告を定期的を受けていたし、帰庁報告もいろんな形で受けた。全く無駄になっていないし、財産になっている。
2	今回の大雨は地域内の雨があまりにも多かったために排水能力を超えて域内が冠水した。域内の住民の生命に関わるので、排水機能を上げることは絶対に止めてほしい。	ポンプだけで解決する問題ではない。本流の水を減らす対策が第一である。いろんな角度から今後の治水対策を考えて、市民の皆さんにも説明していきたい。

3	<p>嬉野に庁舎を新設してもらえれば、嬉野市全体が明るくなる。塩田の庁舎は今回の大雨でも浸水しやすい状況であり、嬉野に庁舎を新しく建設することに賛成する。反対の方もおられるかもしれないが、納得してもらって建設してもらいたい。</p>	<p>納得してもらえるように説明を尽くしていきたい。</p>
4-1	<p>相当強い覚悟で大きな判断されたと受け止めている。この計画は市の決定事項として具体化に向けて既にプロセスに入っていると受け止めているが、その認識でいいのか。</p>	<p>命を守るため、また将来の負担を軽減して市民サービスを充実させていくために、今やらなければならないという不退転の決意で臨んでいる。</p>
4-2	<p>市民説明会と並行してパブリックコメントも実施されているが、その結果を受けて具体的な建築設計に入って行った時に内容を反映させていく予定があるのか。</p>	<p>皆さんの意見を求めた以上は、最大限今後の計画の中に反映させていきたい。</p>
4-3	<p>スケジュールが令和8年度に設定されているが、現嬉野庁舎の老朽化に向けての最短のスケジュールなのか、そのほかにも何か理由があるのか。</p>	<p>災害が目の前に来て、庁舎が孤立して停電したという現実があり、現嬉野庁舎についても早期に危険性を除去する必要があるという判断が一番である。構想から計画まで時間をかければかかるほど当時想定していた人口の動向や行政のニーズも変化してしまうので、方向性を決めた以上は、スピード感を持ってやることが市民の利益にもつながる。</p>
5	<p>公会堂はどうなっているのか。その跡地は何か決まっているのか。プラットフォームになっていくのか。構想はあるのか。</p>	<p>公会堂は解体事業に入っている。今後消防署も解体されていくことになるので、市有地が広がる。民間との連携も踏まえて価値ある使い方を市民の皆様を示していきたい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

③ 開催日：9月6日（月） 会場：嬉野市中央公民館（塩田公民館）

【参加者数】

対象地区：布手区、下野辺田区、本谷区、宮ノ元区、畦川内区、塩吹区、鍋野区、南区、美野辺田区、谷区、熊野区

39人

	意見・質問	回答
1-1	塩田庁舎は役場として建った当時から浸水していたが、防災機能が充実した安全安心な庁舎と記載があるのは、考えて計画されているのか。	今回、対策本部室を2階の踊り場に机を並べ、WEB会議システムで嬉野庁舎と繋ぎ、現場の状況も大画面のテレビに映し出されるようにしていたが、自衛隊の待機場所もないような状況であった。武雄市のような広い災害対策本部室が必要であり、電話などの通信機器も対策本部室に集約することが、迅速な判断、対応になっていく。
1-2	今年の豪雨の時、宮ノ元から下野辺田、本谷、布手のポンプが停止する可能性があるため、避難をお願いしますと連絡があった。ポンプが水に浸かるので、燃料を入れられずポンプが停止しそうになると話を聞いたが、そこを何も改修しないで話かきているのか。	建て家に浸水してきたということで人命最優先の観点から考慮し、呼びかけた。この周辺の田んぼからの水を吐き出すためのポンプであり、民家を守るポンプと機能が違う。ポンプを増強しても浸水という根本の対策は難しい。庁舎だけのことを考えれば、この地域が守られるという考え方ではないので、様々な治水対策と同時並行で進めていく。
2	新庁舎を整備する費用と返済計画を知りたい。嬉野市の財政はどうなっているのか。金銭のやりくりを一番心配している。	市債残高は120億円ほどであるが、交付税措置がかなりある。基金は75億円程度ある。背景としてふるさと納税が寄与している。企業版ふるさと納税もあり、企業からの寄附を基に事業がいくつかできている。国の有利な事業債も活用しており、市の財政指標は良好な状況にある。ただ、踏み込んだ行財政改革の中でも公共施設の再編を考えていく必要があり、有利な事業債を使っていくように心がけており、市民の実質負担を極力小さくしていく。
3-1	窓口サービスは塩田庁舎には残らないのか。	塩田庁舎には最低限の機能を残していく。
3-2	塩田小学校が避難場所にならない理由は。	体育館が浸水したことがあったが、教室等に避難できるように、事前に大雨が予想される時には子どもたちに教室の机・椅子を片付けて、帰ってもらっている。塩田小学校も避難所として使用できるものと考えている。

4-1	<p>嬉野庁舎をこじんまりとつくる方法はないか。塩田庁舎の議場は多額の費用もかかっているのに、議場だけは残す。将来に向かって人口がどんどん減っていく中で、嬉野市としてやっていけるのか。そこまで費用をかけて行う必要があるのか。2庁舎体制でいいのではないか。将来の合併も考えておく必要がある。</p>	<p>将来的な構想の中、長期的な目線に立ち、トータルコストで将来負担が一番残らないかという観点に立った時に、1庁舎にしていくことで年間の維持管理費、人件費の重複分の大幅な削減効果がある。トータルで考えた場合、2庁舎では財政負担が大きくなってしまい、1つにせざるを得ない。将来的な合併については、嬉野市は地域の資源・特色があり外貨を稼ぐことのできる環境にもあるので、独自に嬉野市としての歩みを今後も進めていきたい。</p>
4-2	<p>庁舎の位置条例はいつなのか。基本構想は説明会終了後に議決されるということであったが、基本構想と位置条例はいっしょにやるべきではないか。塩田の議員が3名しかいない時に行うのは無謀ではないか。選挙後にやっていただきたい。</p>	<p>庁舎の位置条例が最優先されるものであり、最後の大きな判断であるが、順序として一つ一つ進めていく方向で理解していただきたい。</p>
4-3	<p>基本構想の議決だけは選挙後に行っていただけではないか。</p>	<p>全体の市民説明会が終了するまで、考えさせていただきたい。</p>
5	<p>比較検討された試算の公開はあっているのか。ソフト面で強化することが一番の課題ではないかと思うが、その点は十分検討されたのか。公民館を窓口にするとか、移動式の窓口をつくるとかで効率が上がるのではないか。</p>	<p>庁舎のあり方検討委員会において考えられる5パターンで比較検討をした。40年間のトータルコストを考えれば嬉野庁舎に1庁舎体制で整備することが経済性に一番優れているという結果であった。1庁舎体制に移行することで人件費の削減が見込まれるが、会計年度任用職員の重複分(3割減)の経費で算出した。公表は庁舎のあり方検討委員会からの報告書として市のホームページ上に掲載しており、市役所の窓口でも閲覧可能となっている。移動窓口のサービスは高度のセキュリティが求められ難しい部分があるが、市民負担をなるべくない形にしていくように努力していく。</p>
6	<p>行政機能を集約し、1庁舎体制に移行するすることで、利便性が損なわれる心配がある。書類をもらう時には、質問しながら受けとらないと不安がある。塩田町民は塩田庁舎の利便性がなくなること一番心配している。塩田庁舎は利便性が高まるような活用をしてもらいたい。庁舎を一番利用している課のベスト3はどこか。もし、そういう課が失われれば利便性が損なわれる。</p>	<p>検討委員会を立ち上げる前に、窓口アンケートを一年間実施し、結果はホームページに掲載している。嬉野庁舎では来庁者が多いのが市民課、税務課、福祉課、塩田庁舎では市民課、子育て支援課、会計課の順番になっている。来庁頻度をみると、年間に5回以内が8割を占めているが、来庁された方にアンケートを取った数字であり、実際に庁舎に市民の方が来られるのは年1回程度が8割以上を占めるのではないか。頻度が多い窓口・手続きは塩田庁舎に残し、手続きがスムーズにできるように考えている。</p>

7	<p>二つのお願いであるが、一つ目は大事な部署は塩田庁舎に残してもらいたいということ。二つ目は防災について、この前の大雨の際、一番最後の時にはポンプが故障し、洪水が来るので避難してくださいと地域を指定して放送があった。夜中に危険水位を超えていたのに避難指示が中々出なかった。夜中でもいいので地域を指定して、急いで逃げてくださいと言ってほしかった。きめ細かな地域を指定しての避難情報を流してほしい。</p>	<p>アナウンスの区別がつかなかったことが反省すべき点だった。伝える避難情報のやり方は大事であるので、取り組んでいく。</p>
---	--	---

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

④ 開催日:9月8日(水) 会場:大草野研修センター

【参加者数】

対象地区:南上区、南下区、万才区、角ノ谷区、大草野辺田区、五代区、長谷区

34人

	意見・質問	回答
1-1	<p>塩田庁舎の下は遊水池で昔から浸水する。浸水すると分った上で庁舎は建ったと思う。水害対応がままならないからということで嬉野へ移転するというのであるなら、これまで行政は水害対策をどのようにやってきたのか。なぜ、何もしてこなかったのか。原町、浦田川にポンプがあるが、対応をどこまでしてきたのか。水害があるから嬉野に移転するとは聞かえない。</p>	<p>歴代の町長が河川の改修、ダム建設などに尽力されてきたが、当時見積もられた最大雨量の想定をはるかに超え、二つのダム、ポンプの排水機能を持ってしても浸水するという時代になると予見がされたため、庁舎の移転を検討せざるを得ないという状況になった。救助を含めた対応が困難と判断した。浦田川、馬場下の排水機がフル稼働した結果、本流の氾濫は防ぐことができた。本流の水を減らさないことにはいくら排水機能を強化しても解決されない。流域で治水を検討していくことで今後の災害を考えていきたい。庁舎だけで解決するとは思っていない。</p>
1-2	<p>ポンプの増設はしないということか。増設をしないと塩田・町分・原町は浸水してしまう。何年のうちにポンプを設置するとか、十分水害の対応をしないことには、嬉野への移転を塩田町民は納得されない。</p>	<p>本流の水を減らしつつ、ポンプの増強も検討していかなければならないと考えている。ポンプのメーカー、河川の専門家とも協議しながら、治水の全体計画を練り直していく。</p>
2	<p>塩田地区の水害はポンプだけの問題だけではない。塩田川の水位が下がらないことにはどうしようもない。満潮時は、下から上がってくる。六角川も同様で、本川そのものの改修を国全体として考えていかないと水害対策にならない。庁舎が災害拠点として機能不全になることは避けなければならない。2つの庁舎があることでそれぞれに行かなければならず不便である。行政コストの面を含めて1つにすべきではないかと思う。将来的に嬉野高校はどういうふうになっていくのか。候補地としては新幹線駅の前が、一番いいと思っている。</p>	<p>河川は本流の水をいかに下げるかということとセットで考えていく。昨年から雨季の時期に岩屋川内ダムが1m、横竹ダムが50cm水位を常時より下げてもらって運用してもらってるように、本流の水をいかに減らしていきながら排水を考えていかということで治水は行っていきたい。嬉野高校は地理的な面でも最適地と考えていたので、今後の方針について県にも確認したところ、当面の間、2校舎体制のまましていくという考えだったのでやむなく断念した。</p>

3-1	<p>合併時の約束はどうなったのか。利便性と言われるが、なぜ嬉野のまち中だけにつくるのか。市庁舎をつくるのであれば塩田町と嬉野町の真ん中につくるべきではないか。久間からどうやって嬉野のまちまで行くのか。嬉野町全体のことを考えれば偏りすぎではないか。</p>	<p>この辺りが塩田庁舎と嬉野庁舎の中間地点になるが、吉田方面からのアクセスはどうかという問題もあり、また新たに公有地を求めるとなると土地の取得費がかかり将来負担が大きくなる。十分なスペースが確保できる公有地ということで検討した。久間、五町田地区は嬉野との交通アクセスが現状でも公共交通の便が悪い。庁舎建設を契機に一気に解決できるように、一つの経済圏を嬉野市という枠組みの中でをつくっていきけるように努力していきたい。</p>
3-2	<p>負担金の割合は、不公平感がないようにお願いしたい。</p>	<p>庁舎ができたことで不便のないようにすると同時に均衡的な発展をしていきたいので、地域振興策もしっかり考えていきたい。</p>
4	<p>これだけコロナが流行し、災害も発生しているのに、庁舎問題をなぜこんなに急ぐのか。もっと十分に検討していくべき。防災、減災にもっと力を入れていくべき。庁舎を建設するのに本体だけでも50億円ぐらいかかるのではないか。塩田はまともに税金をしっかりと払っているのに、なぜ塩田がこんなに苦しまなければならないのか。ハード面も嬉野がみんな取ってしまった。子どもの声が聞こえる市にしてほしい。人口が減っている中で、庁舎どころではない。ソフト面をしっかりやってほしい。</p>	<p>次の世代の子どもたちが育つ環境づくりには相当力をいれてきた。塩田地区は転出より転入が増えてきている。あまねく子どもたちの声がきこえるような施策を強力に推進していくべきだと考えている。ソフト面にかかるお金を捻出するためにも統廃合をしていくことが必要だと考えている。50億円かけるつもりはないし、将来の負担を減らすために一つにし、新しく強い建物にしていくということで理解してほしい。不公平感がないように努めていく。便利になったと言われるようなまちをつくってきたい。</p>
5	<p>今のままでは反対。無駄をなくすということであるが、チャオシルをどうにかしてほしい。年間いくら経費がかかっているのか。</p>	<p>嬉野茶交流館は、2,000万円程度の年間の維持管理費がかかっている。維持管理費をもっと小さくしていく努力はしていくべきだと考えており、新しい取り組みとして立ち寄りしやすいようなソフト面の仕掛けづくりを検討している最中である。お茶の宣伝費として許容できる範囲での維持管理費の手出し分に圧縮できるように努力をしているし、その方向で動きが進んでいる。</p>
6-1	<p>水害の常態化になれば、ダム建設の要望がないのか。不動ダムの要望の話は消えていないと思うが、知事に要望できないか。</p>	<p>不動ダムは計画もあり、県としても流入調査を継続中である。塩田川は県管理河川の中で最大の流域を誇り、安全度を高めていくためにダムも含めて、50年に一度に耐えうる状況をつくっていく必要があるのではないかと強く訴えている。ダムについては、塩田川全体の治水を考えていくうえでの選択肢として協議を進めていきたい。</p>

6-2	<p>嬉野市の人口は年平均どのくらい減っているのか。資料の中に40年後に150億円の財源不足と書いてあるが、人口減をどのくらい計算をしているのか。</p>	<p>未答弁 (2006年の合併当初、嬉野市の人口は30388人、2021年8月末では25345人であり、年平均340人程度の減少。2035年における人口を23948人と推計し算出)</p>
6-3	<p>南下地区に先日の大雨でひび割れした箇所には2軒の家がある。そういうところに住めというのか。自分の田んぼを提供してもいいという話があったはずで、何軒かプレハブをつくることのできないのか。2億何千万円損したとフェイスブックに市長が掲載されていた。被災者の気持ちを考えてもらいたい。</p>	<p>住みにくくなった家屋の応急処理について、ボランティアを入れながら復旧していくことを考えているので、近くいろんな形での要望を受けながら対応していきたい。災害救助法に基づく仮設住宅は2年が限度で、2年経てば出ていかなければならない。地滑りの根本的な工事や家屋の修繕など寄り添って対応していきたい。フェイスブックの投稿については、惜しいという言葉は使っていないので、確認してほしい。災害復旧にかかる費用はこれだけかかっているという現実を共有したうえで、心一つにして災害復旧に全力で取り組んでいきたい。</p>
7	<p>庁舎問題で分裂しないように解決をお願いしたい。</p>	<p>性質の異なる二つの町が合併したことに十分配慮したい。境を感じさせないようにしていくことが務めだと思っている。投資のあり方として、塩田地区は住環境を重視した公共投資を図っていくべきだと考えており、農業の観点からは食と農で生活環境が充実したまちとしてゾーニングを図っていき、嬉野町は民間投資を呼び込むように誘導していく。塩田、嬉野のそれぞれのまちの特徴を生かして一つのまちにしていきたい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑤ 開催日:9月10日(金) 会場:嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区:五町田第1・2・3・4・5区、福富区、大牟田区、真崎区、袋区

48人

	意見・質問	回答
1	<p>2町が合併しての弊害を解決するために、前市長は融和の政策を第一に舵を取ってこられた。融和の政策が限られてきたと感じている。合併当時、塩田庁舎を本庁とするという確約のもとで合意された。塩田庁舎は平成5年に完成したが、げたを履かせて浸水しないように災害の機能を守るために整備された。新庁舎を整備されるなら融和の精神を入れながら、ど真ん中の大草野あるいは美野地区にシフトしてもおかしくはない。何でもかんでも嬉野で、嬉野はいいだろうが、塩田は何をするのか。融和を取っていただかないと市長が掲げるビジョンになっていくのか心配している。</p>	<p>2町の融和を考えていかなければならないと思っている。塩田と嬉野のまったく特徴の異なるまちが一つになった。塩田町は住環境、教育、農業を重視した公共投資を積極的に行っていくべき地域であり、嬉野地域は都市的な機能として民間投資を呼び込むという考え方でまちづくりを進めていきたい。塩田地域は福祉、子育て、市民サービスの向上、質の高い教育の観点でお戻しできるように、不公平感のないまちづくりに努めていきたい。</p>
2	<p>塩田庁舎に機能を残すということであるが、今あるのをすべて残していくのか。何年かすれば無人化になるのでは。現在の機能をすべて残すということを守ってもらいたい。医療センターの土地を等価交換されたが、跡地が死に地になっている。医療センターの跡地をどうするのか。早急に現金化してもらいたい。</p>	<p>医療センターについては、国の事業の採択を受け、民間が基本的に活用していくことになり、民間主導による開発を進めていく。時間がかかるということであるが、この地域が活性化していくような仕掛けをしていきたい。</p>
3-1	<p>市庁舎の建設の総費用と財源の捻出方法を教えてください。</p>	<p>基本計画、設計と進んでいく中で決定していくが、1㎡あたり45万円の単価で計算している。なるべくコンパクトにしていきたい。基金と交付税措置の割合の高い起債を利用して、なるべく将来に対して、そして今いる市民の皆さんにも負担を残さない形での財源の捻出をしていきたい。</p>
3-2	<p>市民が負担する費用はいくらなのか。</p>	<p>単価は1㎡あたり45万円となっている。どんな機能にしていくかを今後検討していかなければならない。市民の皆さんのニーズもあり、上下する部分もあるため総額は確定していない。</p>

3-3	<p>洪水で孤立するから、嬉野へ移転するのでしょうか。資料の中に今後の塩田庁舎の活用として文教・子育ての重点拠点として、公民館や保健センター、子どもセンター、高齢者サロンを入居させると記載されているが、市役所が出て行くような危険な地域・建物に子どもと高齢者の施設をを入れるのか。</p>	<p>災害時についての利用は想定をしていない。災害対応の拠点として注視をした場合に周辺が浸水している環境では、救助や災害の応急的な対応に不具合が出ているのが現実である。</p>
3-4	<p>防災対策の担当部署だけ嬉野に移転すればいいのではないのか。</p>	<p>市民の皆様の生活に密接に関わるものについては機能を残していく。</p>
3-5	<p>洪水の時に防災機能で具体的にどういう弊害が出たのか。</p>	<p>周辺が浸水している状況の時に、救助や見に来てくれと言われた時に浸水のため車が出せないと断わざるを得ないという状況であった。</p>
3-6	<p>資料の中に2庁舎だと5,550万円かかるとあるが、何を根拠に算出したのか。</p>	<p>1庁舎にした場合に、重複する非常勤職員の人件費の3割削減と職員の2庁舎間移動の燃料費を1日10往復、年間240日として計算して出した額。</p>
3-7	<p>1本化すると塩田の非常勤職員が雇い止めになるのか。</p>	<p>業務が重複している非常勤職員が25名になると試算している。</p>
4-1	<p>資料の中に「コンビニ交付の推進」とあるが、コンビニで個人情報を出すのが恐いし、文字が小さいので見にくく、わかりづらい。コンビニのコピー機がそれぞれ違うため、説明を事前にするなどしたら円滑にいくのではないのか。</p>	<p>コンビニ交付は12月からのサービススタートとなるので、対処したい。</p>
4-2	<p>新しい庁舎がシンボルになればと思う。嬉野市は観光で盛り上がったらいいなと思っている。市役所も一つの観光になったらいいなと思う。庁舎をつくるのであればデザインを工夫したり、敷地内に写真が撮れるように何か置いたりとかしてほしい。塩田津と連携して観光が盛り上がってほしい。新幹線を使ってもっと人が来るようにしてもらいたい。</p>	<p>市民の皆さんにご負担をかけないという前提ではあるが、皆さんに喜んでもらうように工夫していく。</p>
4-3	<p>住民票を出す時に、マイナンバーカードの使い方の指南があればいいと思う。</p>	<p>マイナンバーを利用する時の注意点など周知していきたい。</p>

5	<p>車庫を除く面積8,000㎡を予定していると書かれている。単価の45万円に8,000㎡をかけると36億円になる。武雄市は49,000人の人口で8,600㎡の面積に5階建ての庁舎で、税務署が入っているため実質4階で運営されている。防災の面にもっと予算を使うという優先順位があるのではないかと。塩田は浸水するから嬉野に行くということは塩田を見捨てるとしか聞こえない。住民を見捨てた、無視した言動にしかみえない。市の人口も減ってきている中でそんなに大きい建物をつくる必要があるのか。無駄使いではないか。塩田を捨てていくようなことは止めていただきたい。市長選挙で庁舎のあり方を論点にしてください。簡単に庁舎を嬉野に持っていきと言われるが、塩田に住んでいる者は、重い重い意味合いがあるということを感じてもらいたい。</p>	<p>苦渋の決断をした。庁舎の建設費は目安として示しているが、人口が減少している現状を鑑みながら庁舎全体の規模は決めていく。ただ、執務スペースは人口規模に左右されない。必要最低限の機能をコンパクトにまとめられるように意見を聞いていきたい。庁舎だけの問題で災害対策をどうにかしようとは考えていない。踏み込んだ財政改革を進め公共施設の統廃合をしていく中で、将来負担を減らしていくことで治水に取り組む費用を捻出するという考え方に立っている。この地域を守るためにありとあらゆる手段を尽くしていきたい。塩田を捨てていくという考えは持っていない。前線基地を設けていくというところでは、自衛隊や消防が詰めて応急の対応ができるようなところはこの地域に必ず残していく。この地域を守るためにこの取り組みを進めていきたい。</p>
6	<p>今日の資料は早く配っておいてほしい。説明が長い。質問の時間をたくさん持てるようにしてほしい。市長は4月14日の佐賀新聞のインタビューで住民に丁寧に説明をしていきたいと言っているののできちんとやってもらいたい。命を含めて住民サービスの維持が一番で、人口減少が進んでいる中、嬉野と塩田はそれぞれ全町民に占める割合は嬉野が60%、塩田が40%であり、40%の塩田町民に対するサービスの低下がないようにしてもらいたい。嬉野地区と塩田地区は過去の歴史・文化・伝統がいろいろ違って相揃わないところがある。そういう中で嬉野に庁舎を持っていくというのはやむを得ないと思う。市長は4月14日のインタビューで激減・緩和措置をしっかりと考えていきたいと答えているので、しっかりと取り組んでもらいたい。庁舎をつくることで嬉野と塩田が対立しないようにしてほしい。分庁方式も考えてやってもらったほうがいいのか。合併時の取り決めで出来る限り活かすとなっているので守ってほしい。嬉野の人口は13,348人いるのに、嬉野中央体育館のトレーニング室の1か所で説明会を済ませるとはどういうことか。丁寧な説明を市長が心がけるとなれば考えてもらいたい。回答はいい。</p>	
7	<p>今後、基本構想案がどういうふうな形でいくのか。議会に通っていくのか、途中で変わる可能性があるのか、どういうふうになっていくのか。最終的に決断するのは市長か、議会の中で議決されるのか。</p>	<p>今後、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計の段階に入っていく中で、それぞれで議会の議決を受ける必要があり、その場においても修正案を含めていろいろ議論されると思うが、市民の皆さんの意見を受け止めながらよりよいものにしていきたいので、議論を注視してもらいたい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑥ 開催日：9月13日(月) 会場：嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区：鳥坂区、下童区、石垣区、新村区、三ヶ崎区、鳥坂区、山口区、殿ノ木庭区、永石区、平山区、茂手区

45人

	意見・質問	回答
1-1	<p>資料に市民として知りたいものが書かれていない。一番知りたいのはどれくらいの費用でどれくらいの建物をつくらうとしているのか。財源を示してほしい。福利厚生、子育て支援には支障はないというような数字が全くない。文章だけで不親切。40年後の嬉野市の人口をどのくらいを想定されているのか。庁舎のあり方検討委員からの報告書には今の嬉野市の人口と職員数が記載され、必要な面積が8,000㎡、建築費が1㎡あたり45万円で建物の建築費だけで36億円かかると記載されているのに、資料には全くそのことが表示されていない。</p>	<p>数字は現時点での基本的な考え方であり、これから議論を進めていく中にあたって、不要なものも出てくれば、減額されていく可能性も十分にあるということも敢えて出していないところでもある。検討委員会では、テナント料で維持管理費を少しでも低減できればという考え方で意見を出されたものと思う。人口減少を食い止めつつ、ある程度の自然減は甘受しながら、どのくらいの人口シミュレーションになっていくのか見極め、出張所の機能、規模を割り出していき、その頃には皆さんにお示しできると思う。財源として、基金が70数億円あり、将来負担を減らしていくような公共施設の統廃合を進めていく中で財源を捻出していきたい。借金である起債は交付税で返ってくる率の高い有利な起債を活用し、財政負担を減らしていきたい。</p>
1-2	<p>基本計画策定時には金額がわかるということであるので、策定された時にはあらかじめ資料をホームページに掲載してほしい。いろいろ質問できる機会が設けられる予定はあるのか。</p>	<p>情報開示に努め、計画が進むにつれて説明責任をはたしていきたい。</p>
1-3	<p>嬉野に庁舎をつくる理由として、塩田庁舎が災害拠点にならないと言われているが、防災面で浸水するこの地域の市民が安心できるような説明をまずしてもらいたい。</p>	<p>庁舎を移すだけで市民の安心安全が図れるとは思っていない。河川の治水、山間部のため池、山崩れの対応など財源的な問題で対応できないという現実もあり、踏み込んだ対応ができるためにも財源の捻出を図っていく必要がある。災害に強いまちづくりのビジョンを示すように努力していきたい。</p>

2-1	<p>市名を嬉野市、本庁は塩田という取り決めがあった。塩田庁舎はまだ20年以上使えるはずである。計画性がなく動いている。なんでこんなに急ぐのか。コロナ化で集まらない状況でもある。塩田を本庁にして、嬉野はコンパクトにつくってもいいのではないか。規模が大きい建物をつくれれば市民税からしか捻出できない。武雄市は市民税が上がったと聞いたので、嬉野市も同じようになるのではないか。便が悪くなった割には金を多く払うことになる。五町田、久間から嬉野まで行くのには交通の便が悪い。災害があるのであれば、なぜそこに手を入れてこなかったのか。本庁を塩田に置いて、嬉野に災害本部を置けばいい。大きな建物をつくる必要があるのか。子孫にお金を負担させてしまう。将来に負担をかけないようにしてもらいたい。財源も塩田庁舎がどうなるのかもはっきりしていない、全体をこうしますだけでは話にならない。第一に本庁を塩田に、第二を嬉野にして、人員削減を逆のパターンにできないか。災害本部を嬉野に置けばいい。長い将来を考えれば、区民が負担にならないだけの支援の案がないのか。</p>	<p>塩田庁舎は法定耐用年数を20年ほど残している。市が今回の方針を打ち出すにあたり、庁舎のあり方検討委員会でもコンパクトにつくって二つの庁舎を当面維持していくということも検討が上がったが、最終的には30年、40年のスパンで考えたときの維持管理費などのトータルのコストを考えれば、一つにまとめていくほうが一番有利になるとの結論に至った。庁舎建設を理由に税負担が上がるということは絶対でない。庁舎を一つにしたから財政負担がなくなるという考えではなく、踏み込んだコストカットが必要であり、一部の施設の統廃合の検討をしていかなければならない。企業版ふるさと納税に積極的に取り組んでおり、市民の皆さんから負担のないような事業振興を図っている。一つになって頑張っていくことが将来負担を軽減することにつながっていくと考えている。</p>
2-2	<p>塩田庁舎を活かした子育て・文教ゾーンとあるが、1階だけの部分ですむのではないか。2階・3階もあり議会もできるような状況でまだ残っている。機能するものがあって、防災対策だったら嬉野にそこだけ持っていけばすむこと。1庁舎については反対ではない。学校再編はないということは素晴らしいことである。使えるものは使うべきではないか。</p>	<p>子どもセンターの機能を強化することで、子育て世代が気軽に出入りし、子育てを楽しみながら、塩田のまちで生きていくという選択ができるような魅力的なものにしていきたい。高齢者は住み慣れた地域で生き続けるという価値を最大限尊重できるような施設にしていきたい。周辺の店舗も含めて賑わいがつくれるような場所にしていきたいというのが塩田庁舎の利活用の基本的な考え方である。災害の拠点としての機能ということであれば、浸水しない場所からゴムボートで救命に行くとか、土砂崩れも応急でできる部分はやっていくとか、消防・自衛隊が庁舎に詰めており、その対応ができる可能性があり、地域のどの方面にも行けるような場所ですっかり災害の対応をしていく。合併の経緯を踏まえて、苦渋の決断をして、今回の結論に至った。</p>
2-3	<p>子育て・文教ゾーンは塩田庁舎に限らず、嬉野庁舎でもやらなければならないこと。塩田庁舎は子育て・文教ゾーンだけではもの足りない。何が残るのが疑問。行政サービスは具体的にどうするのか。1階だけ使って、2階、3階は物置になり、空洞になってしまう。</p>	<p>不便にならないようにしていくことは約束する。行政サービスという観点では、必要な手続きに関しては住まいの地域の近くでできるようにしたい。学区の単位でもできるように今後のサービスのあり方を変えていきたい。庁舎の中でも手続きの機能は残して、職員も配置する。2階・3階の活用についても賑わいの創出をしていく。買物を支援するための公共交通の見直しや店舗と協力して移動販売を含めた地域サービスの展開を行政がいっしょになって塩田地域を盛り上げていきたい。</p>

3	<p>合併する時、市名は嬉野市で、その条件として本庁は塩田に置くという約束だったと聞くと、副市長は公文書に残っていないという説明であった。議会の議事録は正式文書ではないのか。</p>	<p>議会の議事録は公文書として効力を有するものであると理解している。難産に難産を重ねた合併であるので、そういう雰囲気の中で決着がついたと理解しているし、尊重すべきものだと思っている。将来の負担を軽減しつつ、市民の皆さんの命を守る観点にたった時に進めていくことが必要であるという重い決断の中で判断をした。</p>
4	<p>議会だより「こんにちは塩田議会です」No46に掲載されている。平野議員が明言されているのが掲載されている。正式なものに掲載されているのに、議事録がないというのはおかしい。確認をください。</p>	<p>改めて確認をさせてほしい。</p>
5	<p>合併の経緯について、塩田町役場では2町合併はよくないという意見だったが、市名は嬉野、本庁は塩田でいうことでやむなく合併した。突然庁舎の統合の話聞いた。ゼロベースというのは合併時のことはなしということだったのか。塩田町は経済圏は武雄市、鹿島市である中で、嬉野町と合併した。嬉野は体育館はつくる、新幹線はくるとなっているのに対し、和泉式部公園、北部公園は荒れ放題なのに、みゆき公園はいつも整然とされ不公平を感じている。拙速であり情報が市民に行き届かない状況で行政に不信感がある。嬉野庁舎はコンパクトにつくって活用できる部分は維持しながら活用していくべき。塩田庁舎はOAフロアで費用をかけ、防災無線も設置して経費を投入している。当時の谷口市長は1庁舎にできないかという質問に「合併条件だからできない」と答弁されている。ダム建設をもう一つつくるということだったが、どうなっているのか。下水道料の料金見直しで2倍・3倍に跳ね上がった。道路も荒れている箇所があり、庁舎の構想を計画されるにあたってはお金の使い道に視点を置いていただきたい。</p>	<p>合併の経緯を踏まえて、何が市民の将来にとっていいのか考え、あらゆる選択肢を排除せずこうした検討を進めたという意味でのゼロベースである。今後の投資のあり方として、嬉野と塩田は全く違う性質を持つまちであるが、一体感を図っていくためには、嬉野は都市的な機能の価値の追求、民間の投資を呼び込むことでまちの賑わいをつくっていくことが原則になるのではないかと。塩田は住環境を重視した住宅政策など住み易さを実感できるような公共投資をしていくべきだと思っている。不動ダムは、県で流入の調査を行っているということである。下水道の料金は激減緩和措置を設けて負担の平準化をしていく流れになっているので、説明責任をはたしていきたい。</p>
6-1	<p>市民説明会はあと何回あるのか。市民説明会での質問・回答は公表されるのか。</p>	<p>4回ある。パブリックコメントを行っているので意見に対して市の考えた方を公表する。</p>
6-2	<p>説明会には高齢者は来ることができない。嬉野と塩田でしこりが残ってしまい、一体感がなくなる。丁寧に説明をしてもらいたい。</p>	<p>説明はありとあらゆるチャンネルを使って説明責任をはたしていきたい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑦ 開催日:9月14日(火) 会場:嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区:南志田区、北志田区、西山区

36人

	意見・質問	回答
1-1	<p>コロナの状況の中で説明会が開催されることを不思議に思う。コロナを心配するならばもっと後に開くべきだったのではないか。いきなり具体的なスケジュールを示されているが、庁舎をどうするのが先じゃないか。その議論をしたうえで庁舎建設のスケジュールの話をするのが普通のやり方ではないか。建設ありきの話で、暗黙の了解を得たような説明をされると意味がない。建設反対が多数であればどう対処するのか。市民の同意を得るために市民説明会を開いているのか。市議会と市民説明会の意味合いは何なのか。</p>	<p>コロナ禍における開催となったことについては、地元と相談して、当初の予定から遅れての開催となった。説明の途上であり、市としての方向性が決定したので、皆さんに説明しているのが現時点での立ち位置。今後、基本計画、基本設計、実施計画に進んでいく中で、その都度皆さんの意見を聴きながら議会の議決をもらい進めていく。これで終わり、何も聴く耳をもたずに事業が進んでいくというわけではない。</p>
1-2	<p>市民説明会の意図は何か。</p>	<p>このような計画は長期に影響が及ぶことなので、市民の皆さんに現状考えていることを理解してもらい、市民の皆さんが思っておられることをしっかりと受け止める説明の場だと心得ている。</p>

2-1	<p>嬉野市は2006年に合併し、市名は嬉野、本庁は塩田に置くと決めてスタートした。合併時、本庁を塩田に置くと決められていたのに、なぜ変えるのか。合併当時の声を無視したやり方ではないか。塩田庁舎は浸水して危険性があるから嬉野に1庁舎として大きな庁舎をつくらうということであるが、塩田町の時代は行政は水害を防ぐ努力をしてきている。塩田を見捨てた形になっているのはおかしいのではないか。防災面だけで変えるのか。特に久間地区は交通の便が悪いが、どういふふうに通の便をよくするのか。乗継ぎが必要で高齢者にバスでどうやって行けといふのか。根拠を示し、どういふふうにするのかの説明をしてほしい。塩田庁舎を残さないといふことは区長として区民を守るためには阻止しなければならない。分市問題を法的に模索している。嬉野庁舎への移転は絶対にやめてほしい。庁舎の位置の条例について、市長・市議の改選前には変更条例は提案しないといふことであるが、庁舎を統合して新庁舎を嬉野に建てるといふことがいつ決まるのかを教えてほしい。基本理念にすべてのひとにやさしいとあるが、嬉野と塩田の市民が遊離してしまう今の状態だとすべてのひとがさびしくなる。安全ではなく、危険である。財政面を何も考えていない。財政面が崩壊してしまう。庁舎をつくるなどとは言わない。耐震に問題があればコンパクトにつくればいのではないか。庁舎がないようなまちには若者は寄り付かない。</p>	<p>難産のすえに発足した嬉野市であり、その経緯は十分承知をし、敬意を払う。昨今の災害対応における不自由な点などを含めて解消して、市民の命を守るために重い決断として断を下し、今回の方針転換に至った。災害対策については、庁舎を一つにして移転することがすべてではない。この地域の浸水を防ぐためにハード・ソフト両面に対応してきた。水位の急激な上昇の原因がダムの緊急放流であったので、大雨が予想される際の事前の放流とダム事務所と市の災害対策本部との連絡体制の見直しを図った。当時の想定さえも上回る災害がやってくることを前提に、流域治水をさらに強力に進めていくという考え方を持ってこの地域を災害から守ることに専念したい。交通の便については、庁舎への移動支援の観点から民間の交通事業者に対して乗り換えの利便性の向上、福祉の観点からもバスを出すことを考えるなど様々な工夫のもとで交通の利便性を高めていきたい。分市を探るといふことは悲しい話であり、お互い助け合って治水に理解してきた歴史がある。。上流と下流で絶対に争ってはいけない。庁舎の所在地については、早急に決めるものではない。説明を尽くしながら慎重に丁寧に進めていきたい。やさしさという点では、住民サービスの低下を伴わないように努力していく。財政問題については、市民と皆さんと意見を交わしながら必要な機能、必要でない機能を見極め、なるべくコンパクトに、将来の人口減少を見据えたうえでの適正な庁舎建設の議論の余地を残している。市民の皆さんの実質負担を少なくするように交付税の措置の高い有利な事業債を活用していく。若い方には電子申請を積極的に活用してもらいたいし、日常の困りごと、子育ての悩みに寄り添うための専門家は住環境が整ったこの地域に重点的に配分したい。市街地としての価値を追求する嬉野町と、また異なる特性を持つ塩田のまちの良さを活かしていくための公共投資を積極的に行っていきたい。</p>
2-2	<p>窓口を残すことを前提にしてほしい。嬉野庁舎をたてるなといふことではない。塩田庁舎をなくすといふことは、町民を2分する原因になる。</p>	<p>生活に必要な手続きの拠点は残すことは約束する。</p>
3	<p>庁舎建設ありきのパンフレットである。説明をもっときちんとし、住民の意見を聞いて、その上で資料を提示するのが行政の仕事ではないか。嬉野に庁舎をつくるなどと言わない。今の嬉野庁舎の規模でをつくれればいい。2庁舎でやっていきましょう。</p>	<p>行政としての方針を出した段階である。市民の皆さんの懸念を受け止めた上で、皆さんが納得できる解を出していきたい。</p>

4	<p>市役所は市のシンボルである。そのシンボルを塩田から嬉野に移せば物理的・精神的に旧塩田町は困る。旧嬉野はどんな犠牲を払うのか。旧塩田町だけが犠牲を払うことはおかしい。</p>	<p>塩田町が損をするようなことはあってはならない。この地域がより発展するために選んだ道である。庁舎はシンボルというより、効率的な行政を運営していく中で、行政サービスを今の半分の人員で維持することが国の方向性として示されている現実がある。市民サービスを低下させないために効率的な運用を図っていく拠点としての質素なものになると考えている。庁舎と引き換えに住民サービスをより向上させていくことを実現するためにも、皆さんの意見を受け止めながら事業を進めていきたい。嬉野町から先行して公共施設の統廃合を進めてきている。公会堂は解体工事に入っており、新体育館は古い体育館や古い公民館を一つにして床面積を減らすことで有利な事業債を使って攻めの公共投資を行っている。一つのまちとして、まち全体で一つの機能を共有して一体感を図っていくことも今後の行政運営では大事ではないかと思う。</p>
5	<p>嬉野庁舎が古くなったから建て替えるということには反対していない。2庁舎を1庁舎体制にしようとする考え方に反対している。1庁舎体制を嬉野にすることを白紙撤回してほしい。ハコ物は全て嬉野に片寄っている。市長は選挙に出る時、今の嬉野市を1庁舎体制にすると行って立候補してください。塩田町民だから市長に選び、塩田町民だから副市長にも協力しているという思いが塩田町民にはある。大きな建物を建てる前に、塩田は国道が狭くて子どもたちが危険な状況で通学していることを何の解決もせず、志田原住宅、下川原住宅も古くなって置き去りにしたまま、自分たちだけ新しい建物に移るのか。もっと地域住民のことを考えて行政を運営してほしい。</p>	<p>地域の将来を見据えた時に、重い決断を下した。嬉野は観光地という側面があるので、公共投資が嬉野に片寄っているのではないかと見られる向きはイメージ的に仕方がない部分もあるかと思うが、現実には違っている。課税についても現年度課税ではほとんど優位差はない状況になっているし、合併したからこそこの地域の水道料金もよくなってきた一面もある。公共投資の面でもリバティ、中学校を含め公共投資をしっかりとってきたからこそと思っている部分もある。一体的な発展を考えた時に折り合うべきところもあるのではないかと思う。懸念・質問に答えていきながら、納得してもらえるように説明責任を尽くしていきたい。</p>
6	<p>スケジュールが示してあるが、国から補助があるから令和7年度までの計画になっているのか。市民の数が嬉野のほうが多いという採算があつての一つの案なのか。</p>	<p>直接、庁舎の建設に対する補助事業はない。実質的な市民の負担を低くすることのできる起債事業の活用やこれまでの財政再建の中で得た基金の活用を考えている。人口は5対3の割合で嬉野町のほうが多いが、それだけが判断の基準になったわけではない。新たな土地を求めることができないという制約の中での考えであり、行政機能の継続性ということでの判断だった。</p>

7	<p>嬉野と塩田は対等合併だったため、新市の名称は嬉野市、事務所の位置は塩田とすることとで現在に至っている。対等合併だから庁舎の位置を嬉野町に移すなら、市の名称は塩田市に変わるでしょうと当然思う。説明を十分にはたしてからこの件は出すべきではないか。説明が足りない。回答は知らない。</p>	
8	<p>塩田庁舎の機能が嬉野に移り1庁舎になってしまうということで、塩田の区長から市長に嘆願した。塩田庁舎の機能をなくして嬉野に移すということを見んな反対している。どのくらいこの話が進んでいるのか。撤回してもらえるのか。北志田から嬉野庁舎に行くには30～40分かかかる。嬉野の住民も大賛成ではないはず。しっかり皆さんに理解してもらってから進めてもらいたい。防災の本部を嬉野にしていいじゃないか。嬉野庁舎を絶対つくるなど塩田の住民は言わないと思う。防災拠点として塩田庁舎が機能しないということであれば、五町田小や嬉野高校の塩田校舎にちょっとした拠点を設ければいいじゃないか。庁舎問題は早すぎる。もっとしっかり皆さんの意見を聴いて時間をかけて説明をするべき。今までどおり2庁舎体制でぜひしてください。</p>	<p>決して後戻りはできないということではなくて、意見をしっかり受け止めながら今後の在り方全体をしっかりと考えていくという位置付けである。災害対応では最前線基地の機能をこの近くに残していくことが大事。災害対応に支障のないような庁舎のあり方を柔軟に考えていくという中での提案であるということを理解していただきたい。皆さんが損をしたということがないように住民サービスの充実に尽くしていきたい。</p>
9	<p>説明を聞いていて一極集中になっていると勘違いした。新幹線が開通するということで駅周辺が整備されており、塩田のほうが手薄と感じる。嬉野ばかりがよくなっている。体育館も整備され、大きなイベント開催も嬉野になる。証明書発行はオンラインでできる。2庁舎間をつなげばサービス低下は出てこない。身近にあるほうが安心感がある。一極に集中すれば距離的なこともあり、二つあったほうがいい。学校を残すことは賛成。身近にある地域の学校を残さないと子どもたちは育っていかないし、災害拠点として体育館があるが、拠点が身近にあることが安心感につながる。安心感を持たせることが行政サービスではないかと思う。一極集中だけは避けてもらいたい。</p>	<p>一極集中は避けるべきという考えに立っている。嬉野地区は国・民間の投資を呼ぶ込む形で駅周辺の整備が進んでいる。塩田地区は住環境、農業を重視した公共投資をやっていくべきだと思っている。嬉野、塩田のそれぞれの特徴を活かした一体的に発展していくような一極集中にならない公共投資のあり方を意識していきたい。学校、地域コミュニティの単位を意識しながら、小さな拠点を地域に点在させることで、不公平感のない全体として豊かさを実感できるようなまちに考え方を変えていくことを理解してほしい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑧ 開催日:9月15日(水) 会場:嬉野市中央体育館(トレーニング室)

【参加者数】

対象地区:嬉野地区

49人

	意見・質問	回答
1-1	パブリックコメントの締切りが今日になっている。まだ塩田地区の説明会が残って中で、今日締め切らないといけない理由があるのか。	パブリックコメントは8月16日から9月15日までの1か月を期間としていた。コロナ感染の急拡大により市民説明会の日程を延長したので、市民説明会の最終日となる22日までパブリックコメントの締切りも伸ばすことで柔軟に対応していきたい。
1-2	塩田地区の質問で、合併協議会の項目の中で本庁舎を塩田町に置くという話があったということがたくさん出ていたと思うが、この話は市長はご存じか。	合併協議会の議事録の中に新市の名称と庁舎の所在地については同一の議論をするべきではないとあった。難産に難産を重ねた合併協議の中で、暗黙の了解の中でできたものだと認識している。
1-3	庁舎のあり方検討委員会の第1回の会議の中で、事務局の発言に「合併協議会における合併協定項目の中で、新市の市役所・事務所の位置は塩田町役場庁舎とし、庁舎の位置は本庁を旧塩田町役場、支所を旧嬉野町役場として新市がスタートした」とあるが、事務局である市役所の職員が勝手に発言しているのか。	合併をするにあたって取り決める重要な項目の基本的協議事項で最低限決める重点項目が5つある。一つ目が合併方式で嬉野町・塩田町は対等の合併。二つ目が合併の時期で平成18年1月1日。三つ目が新市の名称で、名称は嬉野市になる。4つ目が新市の事務所の位置で、新市の本拠点は塩田町役場で、嬉野庁舎は総合支所方式を採用。5つ目が財産及び債務の取扱いで、2町の所有する財産、公の施設及び債務はすべて新市に引き継ぐとなっている。そのことの説明を行っている。
1-4	議事録に書いてあるのは、間違いだったのか。議事録の中には、合併協定項目の中でという書き方をしてある。本庁を旧塩田町役場に置くと書いてある。	合併協定項目の重要な項目の基礎になる説明をしている。
1-5	本庁舎を塩田町役場に置くという項目はあるということなのか。	合併するにあたって、最低限必要な項目になる。合併して庁舎の位置を定めないと合併ができない、新市の名称も決めないと合併できないということである。合併をスタートするにあたっての新市の名称と事務所の位置である。

1-6	合併する時だけのための合併項目なのか。時が過ぎればその時の約束はなかったという認識でいいのか。	未来永劫というわけにはいかない。その時のいろんな事情によって変わってくるものと判断している。名称や位置の変更については、議会の3分の2以上の議決が必要となるわけで、そういう変更の手続きを踏むことによって変更ができると自治法に定められている。
2-1	今日の出席の状況を見て、説明会の民意を得られると思うのか。こういう時に説明会をする神経がわからない。不要不急の外出は控え、各地区の行事もみんな中止している。それを主導する行政がこういう時期に説明会をやるのか。	今回、開催にあたり座席の間隔を開け、消毒の対策を行って上で実施している。対面して祭りのように不特定多数の方と会話を交わすような場面はないだろうということであり、嬉野市の将来を決定づける上で重要な説明会になるということで皆さんのご理解を得ながら開催させていただいている。
2-2	大事なことなら、民意をしっかり把握するのが本当ではないか。若い方はほとんどいない。こんなことで民意が図れると思うか。	今回の地区ごとの説明会というものが、市の方針として説明させていただき最初の場となっている。子育て世代のサークルなどいろんな場所に出向き説明をして、幅広く意見を聴いていく努力をしていきたい。
2-3	災害の対策、コロナの対策という時期にどうしても説明会を開催しなければならない理由があったのか。今の議会にかけのために、たいした参加もなく民意も得られないのに議会に上程されるのか。	これで意見を締め切って、理解を得たと判断するものではない。今後も、幅広く意見や懸念の点などを聴き出すよう対話を説明を重ねていきたい。
2-4	本当は参加したい方がたくさんいる。こんな強引・傲慢なやり方があるのか。	謙虚に説明を尽くしてまいりたい。
2-5	コロナが収まった適切な時期に、全市内で再度説明会をお願いしたい。	今後の計画の進捗の中で、幅広く意見をいただくように努力していきたい。コロナの収束状況を見極めながら行っていきたい。
3-1	庁舎整備の費用はどのくらいなのか。	目安として示しているのが1㎡あたり45万円。基本構想の中では面積を8,000㎡と想定しているので、掛け算すると36億円となるが、8,000㎡で整備すると決定しているわけではない。今後の将来負担がなるべく残らない形でいろんな知恵を駆使して建設費の抑制に努めていきたい。有利な事業債等を含めれば市民の実質負担をもっと下げることができるものと判断している。
3-2	塩田庁舎の耐用年数はどのくらいか。	法定耐用年数は約20年ほど残している。

3-3	経費を節約するために1本化にすることはいいことだと思うが、庁舎を1本化にすれば職員数は減るのか。	庁舎ができたと同時にすぐ減るものではない。長期の計画の中で、少しずつ適正化を図っていく。
3-4	塩田を本庁にして嬉野を閉鎖することは考えられないのか。	合併して市になったことで、旧町時代になかった業務が市になったことに伴って増えた。市として与えられた権限の職務をはたしていくには十分な執務スペースをどちらの庁舎においても確保ができない。
3-5	人口が減っていく中で、今の市役所のスペースを上手に使っていけば塩田庁舎で十分間に合うのではないかと。新しい庁舎をつくれれば市民の将来負担にもなる。塩田に1本化することで市の運営はできないのか。	現状は2庁舎体制でやっていかざるを得ないほどの業務量がある。人口に比例する形で庁舎の規模は決まるわけでもない。
3-6	市役所に行かなくてもコンビニなどオンラインで証明書が取れる状況になっている。現在の市役所で十分間に合うのではないかと。足りない部分は市内で空いている施設を集約していけば、塩田の庁舎1本で機能は果たせるのではないかと。どうしても市役所つくらないといけないのか。	オンラインの手続きで市役所に行かなくても手続きができる時代にきているが、執務スペースは最低限確保していく必要がある。塩田も嬉野の庁舎も執務スペースが面積的に足りない状況にある。ある程度の規模を有しつつ華美にならないように庁舎をつくっていくことが、維持管理費の将来負担を含めたところでの節約になる。
3-7	今回の大雨で塩田庁舎は水没したのか。	水没するとは言っていない。周辺の道路が冠水し、孤立化する危険性があると言っている。周辺が浸水することによって、助けを求める人を助けられないかもしれないという状況に備えていく必要がある。ハザードマップ上で白地のところで災害対応の機能を集約して自衛隊・消防と連携した救命、災害の応急対応ができる場所を求めていくということである。
4	災害対策本部は本庁舎になるが、本庁舎の周辺道路が水没していたら関係機関との打合せ会議がそこではできないという状況が出てくると思う。来年、再来年もそれなりの雨が降るだろうと想定でやっていかないと、最終的な住民に対するサービスの低下につながる。今回、嬉野に庁舎を構えるということはひいては住民サービスの向上につながるのと思うので続けてほしい。市民の意見を聴きながら良い方向に進めてもらいたい。将来負担を子・孫に引き継がないことが自分たち世代の責任だろうと思う。	災害を未然に防ぐため、学校を子どもたちのために残す、将来負担を残さないというためには踏む込んだ行財政改革が必要だという判断のもとで行っている。切捨てにならないように様々な方の意見をお伺いしていきたい。
5-1	建設場所は候補地のどちらかに決まっているのか。	決定はしていない。今後の計画策定の中で決定していく。

5-2	<p>現嬉野庁舎を解体せずにその敷地に庁舎を建てて移るとなればスペースが足りないし、公会堂側のほうに建てて、現庁舎のほうを駐車場にするなら、道路をまたぐことになるので、考えて検討してもらいたい。</p>	<p>比較検討しながら最もいい方法を選んでいきたい。</p>
6	<p>合併する時に塩田庁舎を本庁にするということで合併した。塩田町民は裏切られたと思っているのではないか。両市民の気持ちが離れる。もっと丁寧に説明をし、市民との対話がないと実現しないのではないか。両市民の理解があるような形を取ってもらいたい。</p>	<p>今回、初めて市民の皆様幅広く説明をしている。聴いて終わりということではなくて、不便のないようにしていきたい。災害の時代、塩田川でつながる市であるので、お互い理解し、助け合いながら命を守るためにソフトの面でもつながりをつくっていく努力をしていきたい。</p>
7	<p>1庁舎になるとか、嬉野に建設するといったものは事業スケジュールの中で、どの段階で決定するのか。それまでの間に対面以外での説明会の予定や、幅広く市民の声を聴く機会が決定前に開催される予定があるのか。市民説明会があることを知らない方もいたし、嬉野での開催も今回だけで、説明会の時間帯も子育て世代も参加したくても参加できなかった。</p>	<p>様々なチャンネルを駆使して、様々な世代の方の意見を聴いていきたい。今後、子育て世代の方々などの輪へ市側から飛び込んでいきたい。次の基本計画に進んでいく時には、ある程度輪郭が決まっていくので、幅広い意見の聴取に努めていきたい。</p>
8	<p>塩田の庁舎だけでは間に合わないという説明であったが、そこはわかって塩田を本庁にするとなっていたのか。どうしても新しい庁舎をつくらないといけないのか。約束したことを破っていいのか。塩田の方は悔しいと思っているはず。塩田の人の意見もしっかりよく聴いて、嬉野市内が丸く収まるようなやり方をしてもらいたい。</p>	<p>合併の経緯を重く尊重した上で、命を守る、将来の負担を残さないために最善の道を選んでいく必要があると考えている。</p>
9	<p>市長にリーダーシップを取ってもらいたい。明石市長は子育て・福祉を中心にしてまちづくりを進め、明石市は人口も税収も増えた実績があるので、参考にされてはどうか。</p>	<p>自分の一念をとにかく話し続けることだと明石市長からアドバイスを受けた。皆さんの声を受け止める際には前に出ていく姿勢の中で、皆さんの求めているものを把握して市政運営に努めていきたい。</p>

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑨ 開催日：9月22日(水) 会場：嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区：堤ノ上区、中通区、牛坂区

31人

	意見・質問	回答
1	<p>パブリックコメントの意見募集はせめて9月末までに期限を変更すべきではなかったか。市民への説明会を開催した、また庁舎についてパブリックコメントを行ったということで塩田地区の住民に対し十分な説明をはたしたと言えるのか。</p>	<p>パブリックコメントの期限を市民説明会の日程に合わせて、当初9月15日までとしていたが、コロナ感染症拡大のため市民説明会の日程を変更した。市民説明会の最終日を10月4日としているので、パブリックコメントの期限も10月5日までと延ばしている。</p>
2	<p>ほとんど既成の事実として動いている感じがしてならない。この説明会の意味があるのか疑問。広域合併から最終的には2町の対等合併で進んだ。市名は嬉野市、本庁は塩田ということで喜んでしたが、庁舎が嬉野にいつてしまったら何のための合併だったのか。塩田庁舎は雨のたびに水害が発生して孤立化するとされているが、合併する前も同じ条件だった。合併してから15年、浦田川の排水事業はほとんどされていないのではないのか。なぜ、できなかったのか。人口減少続いている中、10年後は2万人を切っているのではないのか。少子化の上に就職は県外。そういう中で行政をどう維持していくのか。本気になって広域合併の動きをするべきではないか。鹿島から塩田、武雄、佐世保までを通る498号があるが、鹿島から武雄までまったく手つかずである。インフラの動きがほとんどこの地区はない。仮に嬉野へ庁舎がいったとしても、ずっと冠水するので、真剣に考えてもらいたい。</p>	<p>二つの町が一つになることで、将来負担を軽減しながら効率よく行政運営をしていくことも合併の重要な役割だったと思う。今回、想定外の雨量が降ってくるということで、格別の対策が必要となってきた。入江川、八幡川、浦田川の支流域においても、本流と同等、それ以上の対策が必要と思っている。本流の水を減らしつつ、排水機の機能強化を考えていくべきものだと思っている。県と手を取り合って対策を講じていきたい。長期的には人口減少の予測になっているが、地域内で働く場所をつくっていくことが大事だと思っている。地域内の就職を促がしていきながら、若い人が地域に根付くようなまちにしていきたい。鹿島から武雄まで直通するルートを鹿島市が描いているということで期成会でも議論があったが、嬉野市としては現道拡幅の主張は変わらない。仮に道路ができた場合においても、冬野地区など浸水被害が出ないように高架の道路にしていくべきだと思っている。バイパス道路によって抜かれることのないように地域振興策を求めていきたい。</p>

3-1	<p>前市長時代にも嬉野庁舎の耐震問題はあったが、旧塩田町民の感情や融和を考慮されたのか、庁舎整備についての議論はなかった。まだ十分使える庁舎を反故にしてまでも庁舎をつくろうと、庁舎のあり方検討委員会を立ち上げられた政治的判断の要因は何だったのか。塩田の住民感情論としては相当違和感を持っているのは事実である。検討委員会で協議されていた当時とコロナ禍の現在とは協議された内容の条件が異なっているのではないかと。検討委員会から報告を受けた後、どのような熟慮をされ、どのように変更されたのか。建設となれば財政問題と住民サービスの低下につながるかというのを懸念している。2025年問題に対処できるだけの財政面の余力があるのか。庁舎建設に合併特例債を予定されていると思うが、新型コロナ対策で国は相当な費用を負担しているし、生産年齢人口が減少して税収も減る見込みの中、十分な交付税措置がされるのか不安。現行の2庁舎体制を維持するのに40年間で22億円の財政支出という説明には疑問を感じる。住民や職員が行き来しないでもいいように、オンラインを活用して塩田の人間が嬉野庁舎に出向くことなく嬉野庁舎の職員と対話ができる環境を整備することで解決するのではないかと。合併特例債を活用して庁舎整備をした自治体の例では秋田県の湯沢市は人口51000人の人口で2024年に32億円の庁舎を整備している。人口減少を考えれば、25000人の人口規模で36億円というのはどうなのか。身の丈に応じた庁舎建設を考えるべきではないか。耐震問題で嬉野庁舎を建設することに対して疑義はない。有利な合併特例債やふるさと納税等を活用しても人口減少を考慮すれば規模を縮小するべきではないか。嬉野の自立は不可欠であり、一つの政策により財政再建団体に転落する可能性のあると言われている京都市の例にならないことを望む。</p>	<p>庁舎のあり方検討委員会を立ち上げた背景は、嬉野庁舎が築59年になろうとしている状況で、コンクリートの剥離もあり、これ以上の耐震補強もできない、震度5で倒壊する可能性もあるということ指摘されているので、この危険性を早期に除去する必要があるというところから庁舎のあり方についての検討が始まった。その際に庁舎をそれぞれ維持していくことが将来的な負担を考えた場合に、理にかなっているのかということも併せて検討すべきだということで、5つのパターンで比較検討した結果、今回の方針の打ち出しに至った。検討委員会からの報告を受けた時は、当時はコロナ禍をまったく想定されてなかった。次の基本設計に至るときには考慮して、コンパクトにしていくなり対応が必要ではないかと思う。企業版ふるさと納税も近年は入ってくるようになって、今までできなかったことができてきて、子育て支援策は全国で一番の水準で行っているが、サービスを維持していくためにも踏み込んだ行財政改革をしていく必要があると判断している。基金もある、有利な事業債もある、今やらないと後々になればもっと負担になってくる。結論を決して急いでいるわけではないが、今のタイミングでと考える理由でもある。オンラインでやり取りをするスペースが必要となる。総建設費を低く低く抑えて最低限の機能を残して、市民の負担にならないように工夫を考えていく。</p>
3-2	<p>検討委員会からの報告を踏まえて熟慮を重ねたということだったが、どういう問題を熟慮されたのか。</p>	<p>5つのパターンで比較検討。嬉野に一つにしていく、塩田に一つにしていく、別の土地を求めて一つにしていく、コンパクトにつくって二つの庁舎を維持していく、今のまま維持していくという5つのパターンで、将来のコストがどのくらいかかるのか、維持管理費の問題を比較検討した。一つにしていく中で、今ある公有地を活かしていくのが一番将来に対する負担が及ばないのではないかと結論に至った。</p>
4-1	<p>庁舎のあり方検討委員会の構成。塩田と嬉野から何人だったのか。</p>	<p>検討委員会は10人の委員で構成。行政区長や商工会などのメンバーで塩田・嬉野それぞれ4名ずつ。残り2名のうち、一人は大学教授で、もう一人は佐賀県の危機管理防災課の職員1名。</p>

4-2	<p>震度5の地震がはたして塩田、嬉野で起こるのか。庁舎をつくるため無理な書き方になっている気がする。</p>	<p>熊本地震や福岡西方沖地震において、この地区でも震度3、もしくは震度4が過去にあった。この地区には鹿島から伸びている西葉断層があり、この規模の地震が想定される。雲仙普賢岳など活火山の近いところでもあり、地震が全くゼロということは日本全国どこでもいっしょだと思いが言えないのではないか。起こりえるものとして想定されるべきだと思う。</p>
4-3	<p>過去の歴史が証明している。無理なこじつけにしか思えない。塩田町民を強引に納得させるためのもので、嬉野へ移すことは賛成できない。3年連続大雨の対策をどのように取ってきたのか。</p>	<p>1年目の雨はダム放流があり、急激に水位が上昇した。ダムの緊急放流の際には、自治体とダム事務所と口頭で連絡を確認する体制を整えることになった。大雨が予想される場合には、ダムの水位を事前に下げて運用すべきだということで、一昨年より事前に水位を下げて運用しており、本流の氾濫だけは避けられた。地域の皆さんといっしょに要望活動をしながらいの管理河川に手をいれてもらうように動いてきた。</p>
4-4	<p>浚渫をまず県にお願いすべきではないか。現塩田庁舎に出張所を設置するとあるが出張所とはどのようなものか。</p>	<p>地区の住民の声を反映して、こまめな浚渫や土砂撤去等をお願いしていきたい。職員が働くスペースは一つにして効率化を図っていくべきだと思うが、住民と接する市民課の窓口機能は残して、市民生活の利便性は低下しないように配慮すべきだと思う。</p>
5	<p>2005年に合併して人口は5000人減少している。20年後には2万人を割る。庁舎整備には36億円かかる。武雄市は人口49000人で29億円で整備した。人口が少ないのになぜこんなに費用がかかるのか。広域合併をしていないと市としての機能ははたせなくなるではないか。わざわざ金かけてつくる必要があるのか。なぜ急がないといけないのか。時期尚早だということでパブリックコメントに出した。</p>	<p>36億円は大きく見積もっているところである。なるべくコンパクトにしていく。武雄市は総工費42億円だと思っている。身の丈にあった庁舎整備を心がけていく。現時点では広域合併は必要ないと考えている。これ以上広域で合併すれば様々な弊害が出てくる。コンパクトな市街地をつくっていく中で効率化を図っていくという考え方でやっていく。将来の人口予測に基づいて、公共施設を整備を図っていく上では十分考慮していきたい。</p>

6	<p>合併協議会の基本協議項目の新市の事務所の位置について、以前質問した際に「未来永劫続くものではない」という副市長の回答だった。9月2日に開催された塩田地区の説明会において、同じ質問に対して当時の副町長(後の新市の副市長)は「本庁は永久的に塩田だった」という回答をされたということだった。同じ副市長の意見が違っていることを市民はどう捉えていいのか。100年確立の雨量では現庁舎の浸水被害により防災や災害対応ができないと記載されているが、これは納得できない。嬉野庁舎に移った場合でも100年確立で大雨が降ったとすれば、塩田地区の住民の家はほとんど水没してしまう。過去に被災された方のことを考えたら、前段で治水対策の計画を示さないと理解を得られないのではないかと。佐賀県の計画では50年確立の雨量で対応する3つのパターンでの建設計画があると思う。現在、2つのダムが完成しているので30年確立、3つのダムが完成して初めて50年確立になるということである。河川断面は50年確立で設計して出来上がっている。3つのダムが完成すれば、洪水調整ができるのではないかと。今年の8月豪雨の被害が出て、改めてダムの必要性を見直す時期ではないかと思っている。併せて大きな固定式のポンプの設置を早急に県に要求されることを要望したい。説明会での意見集約はどうされるのか。公表されるのか。基本構想の見直しは実施されるのか。市役所の位置条例の改正は来年の市長、市議会の改選後の議会に上程するということがあった。基本構想案は10月に議会に説明して議会の議決を受けるということを発言されていたが、基本構想案にはすでに新しい庁舎の位置が示されているので、基本構想がそのまま議会の議決を受ければ嬉野に移るという流れになっているのではないかと。</p>	<p>塩田町の合併説明会の時の職務代理者としての発言だった。見解が違うということではない。庁舎の位置について、地方自治法の中で議員の3分の2以上の賛成すれば動かせるということで永久的ではないということ意味で発言した(副市長)。流域治水の考えに立った時に嬉野の上流と塩田の下流の協力関係なしでは計画はできない。不動ダムは流量調査は続けているということであるので、選択肢として排除するべきではないと思っている。本流の水を減らした後にポンプの能力アップについては考えていくのが河川工学の基本のため、ダムや遊水地は本流の流れを減らすという上では有効であると認識をして治水対策については考えている。説明会で出た意見はパブリックコメントを含めて全てネット上で公表する。議決の時期については、柔軟に対応していくべきだと思っている。</p>
7	<p>庁舎建設の財源については、公共建設基金とふるさと納税と合併特例債ということで以前話しをされていたが間違いないか。新聞にはふるさと納税の指定は原則1年間と掲載されていた。原則1年間なのに、毎年していくことができるのか。市の起債の残高がどのくらいあるのか。合併特例債の借入が将来の負担になっていくのではないかと心配している。塩田庁舎については、庁舎のあり方検討委員会からの報告書には出張所の設置が強く望まれると書いてあるが、出張所を実際、設置されるのか。設置した場合、どんな形で内容を決めていくのか。いつ、誰がどのようにして決めていくのか。</p>	<p>直接、ふるさと納税を充てるというわけではない。比較的財政に弾力性がある今の状況を一つの機会として取り組んではどうかという考えである。合併特例債は交付税の措置が有利な財源ということで、市民の皆さんの実質負担率を下げることでできる起債である。起債残高は110億円程度、基金残高は70億円近く持っている。起債残高も交付税措置の率が高い起債がほとんどであり将来負担率は厳しいという状況ではない。出張所は市民課の窓口のサービスやオンラインでつないでの相談が出てくると思うが、市民の皆さんからこれもあったほうがいいじゃないかというような要望を受け止めながら基本計画に移っていく段階で固めていきたい。</p>

8	行政が入った出張所なのか。	そのつもりである。追加のサービスとして郵便局への窓口委託とか最近では行政も取り組んできている事例もあるので、もっと近くで手続きできるようにも便宜を図っていきたいと思って説明をした。
9-1	小学校を統合しないことだけは守ってください。基本方針5の塩田庁舎の活用で文教・子育てゾーンというのはどういうことをするのか。	子どもセンターの機能をもっと充実させて、子育て世代同士が交流しながら悩みを解決していく場所にしていきたい。高齢者が子どもと関わる中で、生きがいを感じてもらえるような多世代で交流できる場所や健康づくりの拠点として充実させていきたい。
9-2	嬉野高校を塩田校舎に合併する計画はないということか。	県の当初の計画ではそのようになっていると理解している。

市民説明会〈意見・質問等〉一覧

⑩ 開催日：10月4日(月) 会場：嬉野市中央公民館(塩田公民館)

【参加者数】

対象地区：冬野区、牛間田区、光武区、南下久間区、北下久間区、中久間区、のぞえ区

44人

	意見・質問	回答
1-1	基本構想案は塩田町民は死活問題として捉えている。説明会の時期についても異論がある。コロナのまん延防止が唐津に出され、また8月豪雨があつて復旧に苦勞していた中で、説明会を聴きたいと思つても来れない状況だった。なぜこんな時に企画したのか。なぜ急ぐのか。皆さんに丁寧に説明すると言いつつはぐではなつか。ただやりましたというアリバイづくりをやってるとしか思えない。アリバイづくりではないという反論があるか。急ぐ理由はどういうことか。	決してアリバイづくりというたぐいのものではない。早期に説明する場を設けたいということである。市民説明会での意見を踏まえ、パブリックコメントと併せて熟慮をして、議会等でも議論を深めていただくという形で考えている。
1-2	なぜ、こんなに急ぐのか。あり方検討委員会は一昨年だった。	あり方検討委員会として結論をいただき1年経ち、そのままにしておく訳にはいかず、早期に説明をしなければならぬというのが一つ。また、庁舎建設に関し、財源的なところでいくと、全てを市の持ち出しである一般財源で行うとなると、将来に対して大きな負担になる。合併特例債の起債期限を考えると早期に用途を決める必要があるという観点から市民の皆さんに構想を早期に示して議論しなくてはならぬということで説明会を開催している。
1-3	たたき台ぐらいの感じなのか。	構想だから市としてこういう考え方を持っているとかなり踏み込んで対応をしている。今後、市民の皆さんの声をお伺いしながら、また議会でも議論を深めていただきながら理解を得ていきたい。
1-4	平成18年の合併の時に市の名称を嬉野市、本庁舎は塩田役場とすると決めているという記録はないと発言された経緯がある。塩田の第46回の議会だよりに塩田が本庁舎と写真入りで皆さんに伝えられている。市のホームページに合併の重要事項として合併協議会だよりの2005年3月4日の発行で、このことを確認したと載せてある。これは正に公の文書ではないか。これを無視して1庁舎体制にするというのは明らかに約束違反ではないか。塩田町民の合意を取ってからすべきではなかったのか。	市の名称は嬉野市、本庁舎の場所は塩田であると、明文化は避けたものの当時の関係者の暗黙の了解の中で合意をされたと思っている。災害対応の拠点として、将来の負担を軽減をしていくという観点から考えた時に、今回こうした方針を打ち出した上で、皆さんの意見を聴きたいということで説明会の場を設けている。
1-5	順序が逆。まず合意をしてから構想案を練ったほうがいいのか。	こうした場でまずは市としての考え方を示した上で、意見を伺わないことには合意形成は難しく、合意形成に向けての第一歩だと理解してほしい。

1-6	塩田は全員反対している。塩田が存在するのは最後の拠りどころを庁舎としている。塩田の矜持をも踏みにじる行為である。	学校をコミュニティで地域づくりを一生懸命やっている、その拠点が塩田の矜持だと思っている。塩田津、志田焼きの里など豊かな文化財はどこを探してもない魅力であり、それをしっかり守っていくことが塩田の矜持だと思っているし、何より人だと思っており、地域づくり、農業を一生懸命やっていく人たちを支えていくというのが塩田の矜持を守ることだと思っている。
1-7	1000年前から住民が治水をして、努力してきた。それをしないでいいということである。	水の恐さと水の豊かさは背中合わせだと思っている。肥沃の土壌ゆえに災害に苛まれた。自然とうまく付き合う方法を考えていくことが肝要だと思う。
1-8	先人が水害を克服しようと努力をしてきて、やっとあと一步というところにきていると思う。言論を尽くさないで、なぜ嬉野へ逃げていくようなことをするのか。塩田は火の消えたようになる。市長と副市長は塩田を壊した張本人となり、歴史に残ることになる。	壊すということは絶対にしない。この地域をいかに発展させていくか、そして嬉野市全体としても発展をどう図っていくか、熟慮に熟慮を重ねたものである。市役所の執務スペースは昼間職員は中にして経済活動を何もしないわけであり、子育てを楽しむ人や高齢者の方の生きがいづくりの場としてこの地を活用していけば、周辺にも経済活動は波及していくと思う。
1-9	この説明会はどういう位置付けをしているのか。出た意見は構想案にどのように反映されるのか。	今回までいただいた意見、そしてパブリックコメントも加味して再度熟慮したい。
1-10	市民の意見を議会に説明をするということになっているのか。	議会と議論するにあたって、どういう意見が市民の皆さんから出たのか、もらさず説明する。
1-11	議会に説明する前に市民の意見を集約したものを市民に渡してほしい。	そのようにしたい。
2-1	あり方検討委員会の回数が5回というのは少ない気がする。こういう重要なことをたった5回の検討委員会で答申として出されたのは意外である。基本構想案は市役所の職員側からの目線が多い。市民にとっては分散してあったほうが利便性としてはいい。市役所に行くまでの移動が大変。市民のことをもっと考えてつくらないと片寄った構想案である。	あり方検討委員会の回数は5回であるが、事前の調整を含めるとかなり密度濃くやり取りしている。公務員目線が全くないというわけではないが、合併以来、職員数が減る中で災害や新たな行政ニーズへの対応をしていく中で効率化を図っていくという一面はある。市民の側から見て、窓口が減るという懸念はない。塩田地区から身近な手続きのためにわざわざ嬉野に行かいかなければいけないというケースはほぼない。今までどおり塩田で完結できると思うし、それどころかもっとサービスを改善すれば24時間365日自宅からでもできる、或いは郵便局やコミュニティの単位でも身近な手続きや証明書の発行ができるようにサービスを向上させていくという意味では多極展化を目指していくという考え方の基で構想を出している。

2-2	<p>今回の資料では8月の大雨の状況が強調してあるが、説明会において最初からある資料なのか、途中からある資料なのか。</p>	<p>最初の説明会が9月2日だったので、最初から変わらない資料である。</p>
3	<p>市民サービスの具体的な構想があるのか。コンビニや郵便局でのセキュリティはどうなるのか。郵便局やコンビニでも手続きができるというような説明書が添付してあればわかりやすい。</p>	<p>マイナンバーカードで本人確認をするので、他人のものが出てくるということはないが、免許証コピーなど置き忘れがコンビニで多いようであるので、気をつけてもらうのが第一である。福岡県のまちでは郵便局での窓口手続きや住民票の発行など割と広がりつつある中で、情報漏洩など重大なケースの報告はない。不安があるのは理解するので、細心の注意を払っていきたい。</p>
4	<p>この資料は市民サイドから見るとただの紙切れ。心がない。塩田町民は塩田町をどうやって維持していくかを一生懸命考えている。本庁を塩田に置くということが塩田町民の拠りどころ。嬉野は市街地は新幹線駅もでき市街地形成も進んでいき、塩田はなおざりにせざるを得ないということを塩田の市民は心配している。塩田は河川整備、道路整備何もされていない。基盤的なものは何もやっていない。道路の整備をすとか、これから何をすとか口で言われているだけであって、総合計画の中にもない。実現していくためのきちんとした資料を計上できるような案を市の内部でつくってからやらないといけな。発展という言葉は学術的にはなくなって、維持していくことが大事。庁舎を1庁舎体制にする理由がよくわからない。財源もわからない。次の合併がくるかもしれない。塩田町民は本庁を動かすことが受け入れ難い。もっとほかの考え方で検討できないか。それを強く要望する。嬉野は嬉野独自のやり方でいいではないか。もっと慎重に考えて結論を出すことを要望する。</p>	<p>災害対策についてはできることというのはかなりのことをやってきている。今、袋の河川改修工事などやっており、また地域の低平地の浸水を防ぐために、雨が予想される時に事前にダムの水位を下げる運用を3年前の豪雨災害を契機に、事前放流を提言したことで実現した。このことがぎりぎり浸水を防いでいるというのは現実としてあるのではないかと思う。ただ、これでも十分ではなく、もっとお金をかけて内水氾濫を防ぐために本流の水を減らしていく、またポンプを含めたところで増強していくことも考えながら、いろんな選択肢を排除せずにやっていくとなると、単独の事業ではこの地域を守ることはできないと思っているので、相当にこれからの財政出動は予想される。2つの庁舎を維持していくのも独自のやり方ではないかと思うが、そもそもの行政サービス自体の維持が難しくなってしまう可能性もあり、今回の方針になった。仮に嬉野庁舎だけを単独で建て替えるとなると、丸々市民の負担としてかかってくることになる。これからの方向性としては床面積を減らしていく、なるべく維持管理費を減らしていくことに対して国の支援策があるので、制度を十分に活用して本当に大事なところの行政サービスを維持する観点で行政経営に取り組んでいきたい。</p>
5	<p>議会に構想案をかけるのはいつか。改選前か。改選前にするべきではないと思う。</p>	<p>皆さんの意見を受け止めて、しばし熟慮の時間をいただきたい。現時点でははっきりとしたことは言えないが、しばし時間を置く必要はあると認識している。</p>

6-1	<p>市長の回答はあいまい。一つもわからない。嬉野に1庁舎制にすべきという理由は何か。嬉野庁舎が耐震要件を満たしていない、塩田庁舎が孤立化するということが書いてあるが、それ以外だったら理由が見当たらない。嬉野庁舎の耐震強度不足だったら嬉野庁舎を耐震に適うような庁舎にすればいい。規模は3分の1でいい。何十億円も出す必要はない。合併時の約束事である塩田を本庁舎にする、嬉野を支所にするということではないか。住民の利便性を考えるべき。塩田庁舎は水害で孤立化するということであるが、排水対策は合併前も合併後も何もしてない。内水氾濫は武雄、北方より規模は小さい。排水機ポンプ場をつくれればいい。高潮の時にも排水できるように塩田川を補強すればいい。嬉野にもっていく理由はない。排水対策をきっちりやったうえでやるべき。塩田中学校は浸水したままなのに、事業計画が入っていない。嬉野庁舎にするための資料である。もっと検討すべき。</p>	<p>仮に単独で嬉野庁舎だけを整備したとしても、有利な事業債を使わず、すべてが市民の持ち出しになってしまう。ひいてはこの地区の皆さんも税の負担の公平という観点から見れば同様に負担をしてもらわなければならないというような性質になってしまう。財政負担を皆さんにかけるとはいかないだろうという観点で一つにしていく方向でも検討をした。もちろん、二つ残すことも考えて比較検討して、どちらが将来に対して負担が残らないかということを考えてきた結果でこうした方向性となった。住民の利便性については、窓口が減ることではなく、市役所の職員の執務スペースを一つにしていくということであり、市民とつながる場所としては塩田庁舎に残していく。今後、郵便局やコミュニティとの連携の中で、近くで簡単な手続きは済ませてしまう、マイナンバーカードを使えば自宅でもできるという制度にして、多拠点化をしていきたい。排水対策については、本流の水が減らないままにポンプで内水を吐き出したとしても本流から逆流してくるので、ポンプを増強することに加えて本流の水を減らすために何をすればいいのか。途中で遊水池のようなものをつくっていく、田んぼダムのような山間地の田んぼを上手く使って、水を川に流さないような仕掛けをつくっていく。そしてダム自体を検討していくことを含めて、塩田川流域全体で治水を考える。ポンプも当然選択肢の一つとして県と一っしょに検討していく。塩田中学校は全てが高床式でできているということで、全国ニュースで学校の浸水対策に対して国が補助をしていくという先進的な取り組みとして紹介されていたが、想定外の災害の中ではまだまだ検討する余地がある。流域治水の考え方でこの地域の水から守る取り組みを強化していきたい。</p>
6-2	<p>排水対策は武雄の六角川とは違う。塩田川は延長としては3分の2ぐらい。河川幅を広げるとか、排水できるようにすればいい。不動ダムを要望すればいい。塩田中学校は冠水してしまっていたら避難できない。孤立する。検証するべき。塩田庁舎の本庁舎に半分以上の課を置く、窓口は両庁舎に置く、その他は嬉野庁舎に置くとすれば、それぞれの行政は動く。むしろ2庁舎制のほうがコストは少なくすむのではないか。職員が通勤するにしても。</p>	<p>不動ダムは流量調査を佐賀県は継続して行っている。今回の災害を一つの教訓として流域治水を佐賀県はプロジェクトを立ち上げているので、ダムは一つの選択肢としていくべきだと申し上げたい。塩田中学校は周りが孤立してしまうという状況は塩田庁舎と同じで避難のあり方を考えていかなければならない。分庁方式は既に行われている方法で、今回の災害で言えば分散してしまったが故に業務の効率、庁内での意思決定に支障が出ているという現状であり、意思決定していく機関は一つにさせていただき、市民とのつながりだけは皆さんの近くで維持できるように最大限の努力をしていくということで今回の方針を打ち出している。</p>

7-1	<p>財政面と市の職員の効率化。最近のニュースで武雄市が市民窓口を民間に委託したが、3年間で5000万円かかっている。先々、夕張市のようになってほしくない。資料を見ると将来150億円の財源不足が出てくるとあるが、決してウソではないと思う。企画政策課の課長を中心にもっと細かくわかるように市民に説明してほしい。市長は最後に方針を述べるだけでいい。国からの補助をもらう機会を設けたら市民の負担は減るので、事務方が塩田町民にわかるように説明してほしい。塩田庁舎がなくなれば、バスで乗り換えて嬉野庁舎まで行かなければならなくなるというような困った声があるのが現状。塩田庁舎がなくなれば悲しさ、寂しさと同時に、市役所の職員の顔が見えないという不安と寂しさが交ざっている。基本構想案を読んできたが、塩田町民が見るのはわずかの部分だけ。問題は塩田町民が納得できるかどうか。この財政難の中でどうしなければならないか考えるには塩田町民もバスに乗り換えて嬉野まで行かなくてもいいように出張所とリモートで本庁でオンラインでつながりシステムができれば致し方ない。将来、夕張市のようになったら困る。大きな目で見て、時代は変わっていることをきちんと塩田町民に説明していただきたい。課長はどう思うか。</p>	<p>当然、説明はしていかなければならないと思っている。今後、検討を重ねて応えていきたい。</p>
7-2	<p>しっかりとよく検討して、塩田町民にわかりやすいような説明の仕方をお願いしたい。企画政策課でいい知恵を出しながらいい政策を実施してほしい。</p>	<p>このまちをどう良くしていくのかというのは、これから皆さんにしっかり示していきたい。文教・子育てというところにキーワードは隠されていると思う。皆さんに理解を得られるように皆さんの声を受け止めて全てにおいて何らかの答えを出していくのが役目だと思う。</p>
8	<p>塩田町民と嬉野町民が分裂しないようにしてほしい。せっかく経過して融和・交流ができていたのに庁舎が移ったら分裂してしまう。そういう状況だから頑張ってください。</p>	